

令和4年度 高志中学校2年「高志学」東京研修

- 1 期 日 令和5年3月8日（水）～10日（金）
- 2 目 的 (1)「ふるさと福井」に誇りを持ちながら東京で活躍する福井県にゆかりがある「福異人」に対して、生徒一人ひとりが研究していることを発表し意見を伺い3年次の「高志学」論文作成につなげる。
(2)リアルな体験を通しての英語学習によるグローバルな人材の育成、在学中に起業した現役大学生や大学院生とのトークセッションにより、勇敢に挑戦する人材の育成の一助とする。
(3)東京から見た福井の姿を知り、「ふるさと福井」の未来の在り方について考える契機とする。
- 3 参加生徒 87名

4 報 告

「七期生の革新的な一人ひとりの学び～seven and I learnings～」を東京研修のテーマに、事前学習を進めてきました。その中で、一人ひとりに当てはまる「シン（新、真、深など）」を設定し、自分や福井を捉え直していきました。そして、当日の東京研修では、自分が設定した「シン」を持って出かけ、たくさんの学びや発見があり、充実した研修となりました。研修を終え、今後の学校生活にどのような効果をもたらすのか、大変楽しみです。

【1日目】

[Makers University 研修]

Makers University 研修では、在学中に起業したさまざまな業種の方々の考え方や現在に至るまでの道のりについてお話をうかがいました。「人と同じ土俵で戦わずに、誰もいない土俵に一番乗りすればいい」「自分と他人は異なり、この世に正解はないのだから、常に問い続けることが重要」「人生をかけてやると決めれば、失敗や挫折はなく、それらは大事なことを学ぶ機会」などの金言をいただき、生徒が自分自身を捉え直し、これからの人生への展望を開ききっかけとなりました。



[東京で働く「福異人」研修]

「福異人」研修では、福井にご縁のある業種多様な方々に対して、生徒一人ひとりがこれまでの高志学での探究について発表しました。不安や緊張、楽しみなど様々な感情が入り混じる中、どの生徒もこれまでの努力を堂々と話していました。休憩時間には、探究活動の方向性を協議したり、福異人の方の学生時代のお話を聴いたり福異人と生徒同士で絶え間なく話し合いやアイデアの交換がなされました。今後の7期生の高志学にどのような変化をもたらしていくのか楽しみです。



【2日目】

[東京都内班別企業研修]

東京都内10か所の企業にご協力をいただき、班別企業研修をおこないました。研修先の一つである株式会社致知出版社は、「売れる本」ではなく、良い言葉を通して「人間学を探究する本」を出版することを企業理念に掲げています。研修では創業から45年間の取り組みについて、担当者から熱い思いをお聞きしました。研修を終えた生徒は、「成功するやり方ではなく、成功する心の在り方」の大切さを学ぶことができ、これからの学校生活に活かしたいと感想を述べていました。



[Tokyo Global Gateway 研修]

エアポートやホテルの実践的な場面でのコミュニケーションについて学びました。また、スピーチのスキル、ストーリーづくり、動画撮影といったクリエイティブな活動にも取り組みました。リアルなセットで体験ができ、生徒たちも積極的に英語で話そうとしていました。生徒の感想には、「自分の英語が伝わる喜びを感じた」や「ジェスチャーやあいづちの大切さを学んだ」、「授業で習った表現の復習ができた」などがあり、充実した時間になったようです。



【3日目】

[国立科学博物館研修]

2万5千点以上の自然史・科学技術史に展示物を見学しました。「日本館」では、変動する日本列島“日本周辺のプレート配置ともぐりこみ”の3D展示、「地球館」では、大深度まで潜ることができる有人潜水調査船“しんかい6500”を興味深く見入る生徒がいました。この施設を見学することで、地球と人類の望ましい関係について考えさせられました。



[東京ディズニーランド]

研修の最後は、ディズニーランドでホスピタリティマインドについて学びました。入園すると同時に、アトラクションに乗ったりお土産を買ったり、時間いっぱい堪能しました。終始笑顔のキャストさんたちを目の当たりにし、生徒たちは感動していました。集合時間内に全員が退園できたことも、素晴らしかったです。

